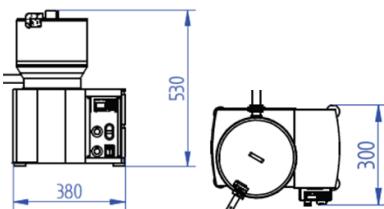


歯科材料 09 歯科用研削材料  
一般医療機器 歯科用研磨器材 JMDN70907000

# バレル研磨機 Maxi Dental

## 【形状、構造及び原理等】



本体重量：約 30kg

電気仕様：100-120 V/ 60 Hz 0.8kVA

動作条件：温度：+5～+40°C

相対湿度：最高温度 40°C で 90%

付属品：専用コンテナ／排水用ホース／その他

メディア（研磨材）5kg

※使用用途及び頻度に合わせて別途購入することになる

## 【使用目的又は効果】

補綴物等の研磨に用いる器材をいう。別に名称を定めるものを除く。

## 【使用方法等】

### 1. 取り付け、設置

付属の取扱説明書を参照して、水平でしっかりと机 又は床に設置すること。

### 2. 操作方法または、使用方法

機器の詳細な操作方法および、使用方法は付属の取扱 説明書を必ずお読みください。

## 【使用上の注意】

詳細については取扱説明書を使用前に必ずお読みください。

①研磨材の充填量を定期的にチェックし、必要に応じて新しい研磨材を補充してください。

②3mm 以上のワーク（補綴物等）のみ加工してください。1mm 以下のワークは回転テーブルの下に入り込み機械を破損させる可能性があります。

- ・プロセスコンテナ内のワークピースの最大重量 200g
- ・ワークピース 1 個あたりの最大重量（プロセスコンテナ内に複数のワークピースがある場合）：約 8g

③約 50 時間の処理時間が経過したら、プロセス水を全交換してください。

④簡易ろ過装置（EFS 10）の上部にあるフィルタバッグは定期的に清掃して下さい。2 枚で運用し、スラッジが乾燥した状態で取り除くことで、再度利用いただくことが可能です。

（推奨は毎日または 6～8 時間の処理時間後に交換）

⑤プロセス水の給水はコンテナ上部にあるホースを使用します。給水する水の量は仕上がり具合や泡立ちぐらいに応じて調整が必要です。特に軟水・硬水の違いや、コンパウンドの量などの影響で泡立ちが見られる場合は調整が必要です。

⑥機器を使用する前には次の事項に注意すること。

- ・アースが完全に接続されていることを確認すること。
- ・装置内の回転機構部に巻き込むような物がないこと。

⑦ゴーグル、安全手袋、作業服などの個人用保護具を着用して、研磨材（例：メディア、プロセス水、研削スラッジなど）を取り扱うこと。

⑧使用済みの研磨材（例：メディア、プロセス水、研削スラッジなど）は、取扱説明書または、当該研磨材の安全データシートの指示に従って廃棄してください。

詳細は取扱説明書を参照すること。

## 【保管方法及び有効期間等】

①機器及び部品は必ず定期点検を行うこと。

②機器の使用後は、機器の電源を切って、次回からの使用に支障のないように清拭すること。

③長い間使用しなかった機器を再使用するときには、使用前に必ず装置が正常、かつ安全に作動することを確認すること。

④屋外に保管しないでください。

⑤ほこりのない乾燥した場所に保管してください。

⑥本機を腐食性の媒体にさらさないでください。

⑦直射日光から保護してください。

⑧保管温度：5～40°C、相対湿度：最高温度 40°C で 50%、結露なし。低温時は相対湿度が高くても許容されます（例：20°C で 90%）。

## 【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

### 製造販売業者

・株式会社 クエスト  
〒773-0009 徳島県小松島市芝生町字西居屋敷 53-1

### 製造業者

・OTEC Praezisionsfinish GmbH  
Heinrich-Hertz-Strasse 24 75334 Straubenhardt Germany